Shower toilet

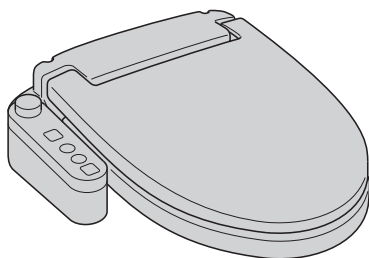
取扱説明書

保証書別添

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

シャワートイレ
U シリーズ

CW-U111R 型・CW-U110R 型
CW-U121R 型・CW-U120R 型
CW-U111L 型・CW-U110L 型
CW-U121L 型・CW-U120L 型

もくじ

表：PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

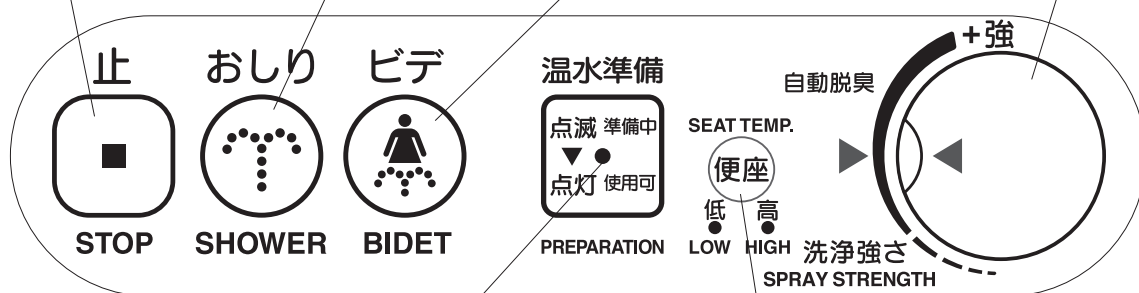
各部のなまえ

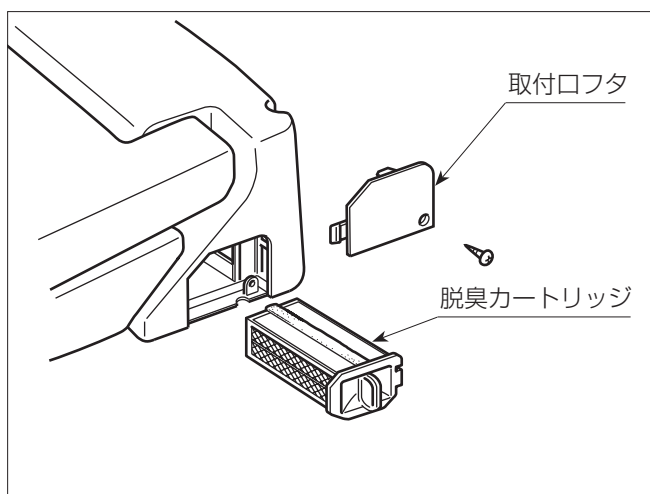
■全体図

ラベル
便フタ
シャワートイレ本体
洗浄強さダイアル
(☞ 2 ページ)
電源プレート
電源コード
給水 (湯) 管
ノズル（おしり用）
ノズル（ビデ用）
便座
給水 (湯) 止水栓
操作部
(☞ 2 ページ)
便器

■分岐栓の場合

※ 上図は R タイプを示します。
L タイプは操作部が反対側になります。

■操作部

※ 脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。<脱臭付>(☞10ページ)

■脱臭カートリッジ<脱臭付>

安全上の注意

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ‥‥‥ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 ‥‥‥ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ ‥‥‥ この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ‥‥‥ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行 ‥‥‥ この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

禁止

〈暖房便座付〉

指示実行

- 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

- ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認してください。

※ Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

分解禁止

⚠警告

アース、漏電遮断器を確実に取り付けてください。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ アース、漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。

濡れた手で、漏電遮断器を「入」「切」しないでください。

※ 感電の原因になります。

お手入れをするときは、必ず漏電遮断器を「切」にしてください。

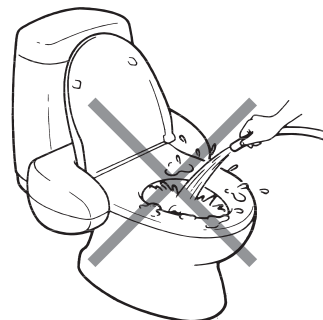
※ ショート・感電の恐れがあります。

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体に水や洗剤をかけないでください。

禁止

※ 感電・火災の恐れがあります。

交流 100V 以外では使用しないでください。

※ 火災・感電の原因となります。

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行ってください。

※ 凍結破損により感電・火災・漏水の原因になります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症等を起こす原因になります。

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

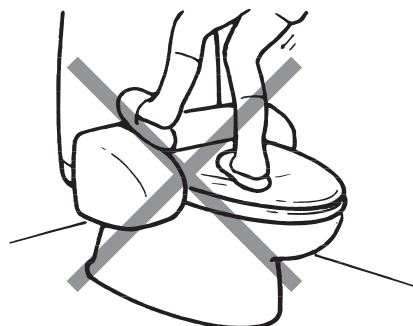
※ 凍結破損により感電・火災・漏水の原因になります。

⚠注意

樹脂部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

※ 樹脂が割れてケガや感電・火災の原因となります。
※ 感電・火災の原因になります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。

⚠注意

便座や本体カバーが破損した場合、漏電遮断器を「切」にして修理を依頼してください。
※ そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

水道水以外に接続しないでください。
※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
〈脱臭付〉
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

便フタにもたれないでください。
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

本体カバーや便座、便フタは樹脂製です。タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※ 火災の原因となります。

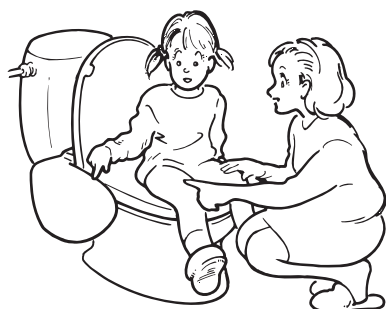
火気禁止

給湯管は高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。
※ ヤケドをする恐れがあります。

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※ 部品の劣化・摩耗等による水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

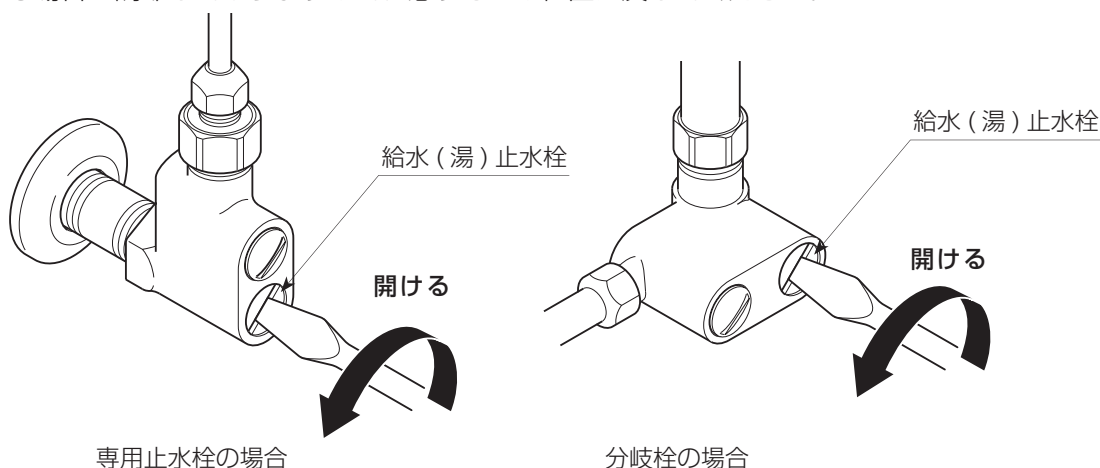
次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

小さなお子さまや、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。

ご使用中にシャワーが出ない等普段と異なる動作をしたら、ただちに使用をやめて、お求めの販売店またはLIXIL 修理受付センターにご連絡ください。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 給水止水栓と給湯止水栓が開いていることを確認します。

給水止水栓と給湯止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

2 電源とアースを確認します。

1. アース線が取り付けられていることを確認します。
2. 漏電遮断器を「入」にします。

⚠ 警告

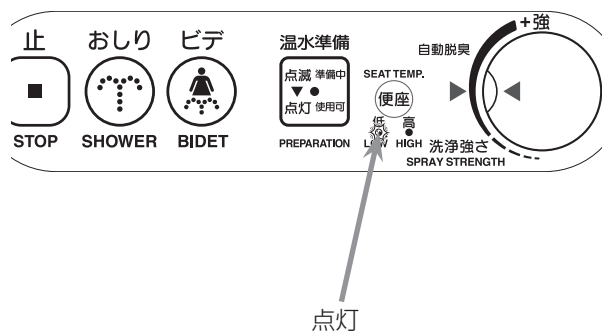
アース、漏電遮断器を確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ アース、漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。

アース接続

⚠ 警告

交流 100V 以外では使用しないでください。
※ 火災・感電の原因となります。

禁止

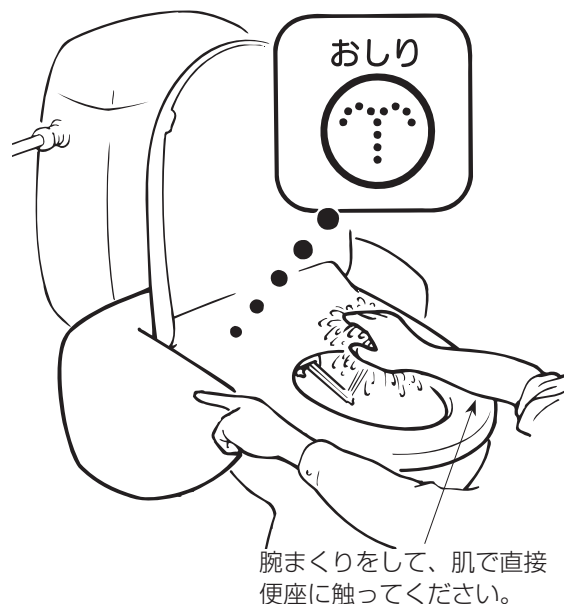
3. 暖房便座付の場合は、暖房便座の表示ランプ「低」が点灯していることを確認します。

※ 暖房便座が付いていない場合は、便座に肌で直接触れて温水準備動作が行われることを確認してください。（次ページ参照）

3 温水準備動作を確認します。

1. 腕を便座にのせます。
2. 温水準備ランプが点滅して、給湯管内の冷水が便器内に排出されることを確認します。

4 おしり洗浄を確認します。

1. 腕を便座にのせたまま、おしりスイッチを押します。
2. 洗浄強さダイアルを時計回りにいっぱい回します。
3. **ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。**
   ただし給湯管内のお湯の温度が適温でないと、少し時間がかかることがあります。
4. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。**
   ご使用方法 (8 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。

※ 便座に**着座センサー**が付いていますので、便座に触れていないとおしり洗浄は作動しません。

※ 洗浄中、ノズル付近から少量の水が排出されますが、構造上必要なもので異常ではありません。

ご使用方法

《ご使用前に準備してください》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■便座（便座の暖めかた）〈暖房便座付〉

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 〜 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

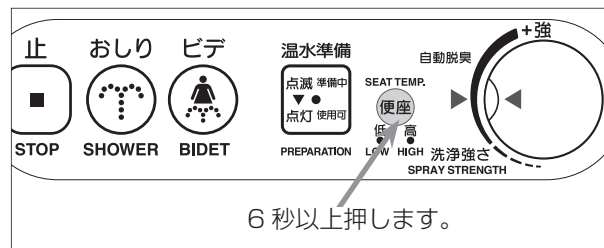
●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

指示実行

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

■暖房便座を「切」にロックしたい場合

●操作方法

便座スイッチを 6 秒以上押し続けます。
表示ランプが消灯し「切」にロックされます。（セット完了時、便座の表示ランプが一瞬点滅します。）
ロックを解除する場合も便座スイッチを 6 秒以上押し続けます。

《操作は簡単です。》

■温水準備動作

1 便座に座ります。（温水準備動作を始めます。）

便座に座ると、便器内に給湯管内の冷水を排出します。

参考

温水準備動作について

おしり洗浄やビデ洗浄のシャワーは、水道水と給湯管のお湯を混合して適度な温水にしています。このため、お湯を使わないでいると、給湯管内のお湯が冷めてしまいます。
温水準備動作とは、給湯管内に必要なお湯を得るまで、冷たい水を便器内に排出する操作です。最初の動作で適温にならなかった場合、おしりスイッチ（又は、ビデスイッチ）を押したときに、適温になるまで便器内に冷水を排出します。そのためおしり洗浄（又は、ビデ洗浄）を始めるのに少し時間がかかることがありますが、故障ではありません。

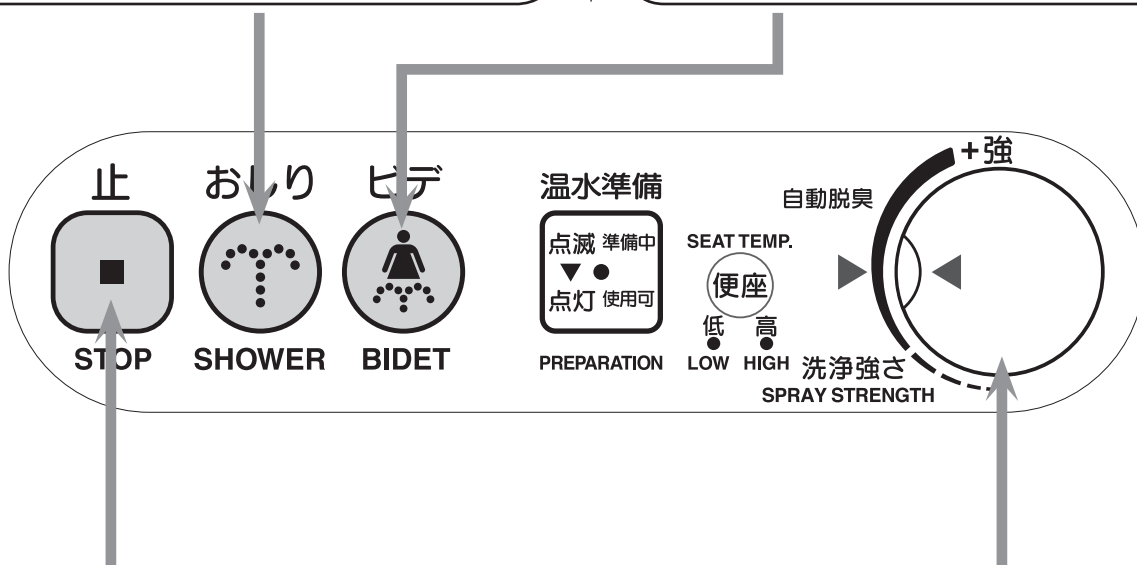
■おしり洗浄

1 おしりスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

■ビデ洗浄

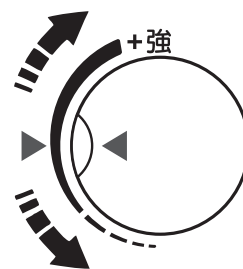
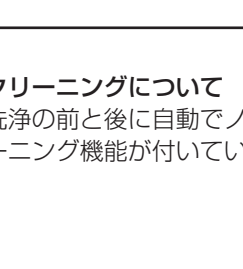
1 ビデスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

2 シャワーの強さを調節するときは洗浄強さダイアルを回します。

強くする場合

+強

弱くする場合

3 止めるときは止スイッチを押します。

注意

- ●水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、洗浄強さダイアルの三角マークより「強」側に回してご使用ください。
- ●便座には、深く腰掛けてください。深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- ●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- ●局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

※ ノズルオートクリーニングについて
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

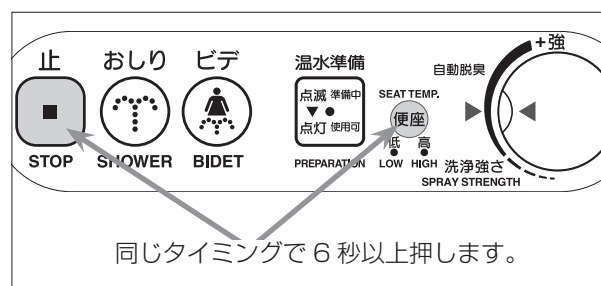
■脱臭〈脱臭付〉

1 便座に座ると脱臭を始めます。

2 便座から立ち上がると約 1 分後に停止します。

■脱臭を「切」にしたい場合

●操作方法

便座スイッチと止スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。
「切」にすると脱臭を行わなくなります。
その後、「入」にする場合も便座スイッチと止スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。

《知っておいていただきたいこと》

動かなくなったら？

漏電が発生すると、事故防止のために漏電遮断器が切れます。

※ 動かなくなったら漏電遮断器を「入」にしてください。それでも漏電遮断器が切れるようであれば、漏電遮断器を「切」にして、お求めの販売店またはLIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

ノズルの付近から出る水は？

● 洗浄の前後や洗浄中にノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

● 着座するとしばらく水が出ますが、これは給湯管内の冷たい水を排出するためです。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、漏電遮断器を「切」にして、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

洗浄強さが最弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが出ないことがあります。
このようなときは、洗浄強さダイアルの三角マークより「強」側に回してご使用ください。
(☞ 9 ページ)

便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。
塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレが故障・破損する恐れがあります。

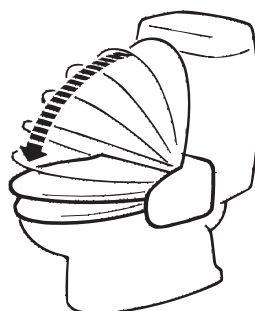
着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付〉の各機能がはたらきません。

※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄等の操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、１～２秒経ってから再度座ってください。

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

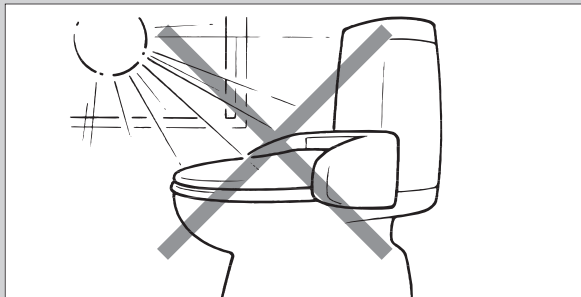
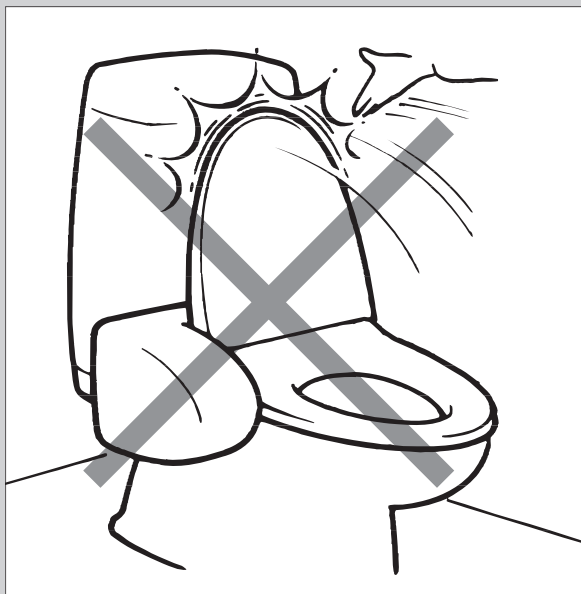
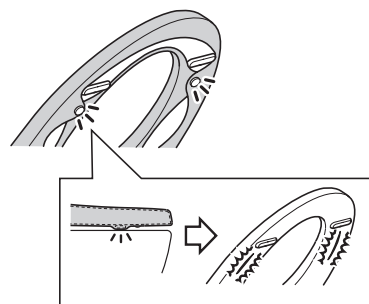
便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

直射日光が当たらないようにしてください。
※ 樹脂部が変色することがあります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。
※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れる場合があります。
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。

プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふきとってください。
※ 光沢が無くなることがあります。

シャワートイレ本体・便座・便フタ等のプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。
※ 傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は 13 ページをご覧ください。

注意 このシャワートイレ U シリーズは、寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れがある場合は取り付けないでください。

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

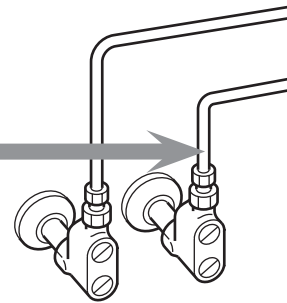
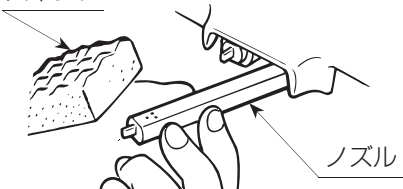
お手入れをするときは、必ず漏電遮断器を「切」にしてください。

本体のお手入れのしかた

- **柔らかい布で水ぶきをしてください。**
  汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
  また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。
- **お手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。**
  市販の便座用洗剤等も使用できますが、中には適さない製品があります。
  ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
  別売品の購入方法については 25 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。(☞ 15 ページ参照)

止水栓・銅管のお手入れのしかた

止水栓などのメッキ金具は、ミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくと、美しい輝きを保てます。

ノズルのお手入れのしかた

ノズルを引き出し、スポンジ等を当てて掃除してください。

※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。

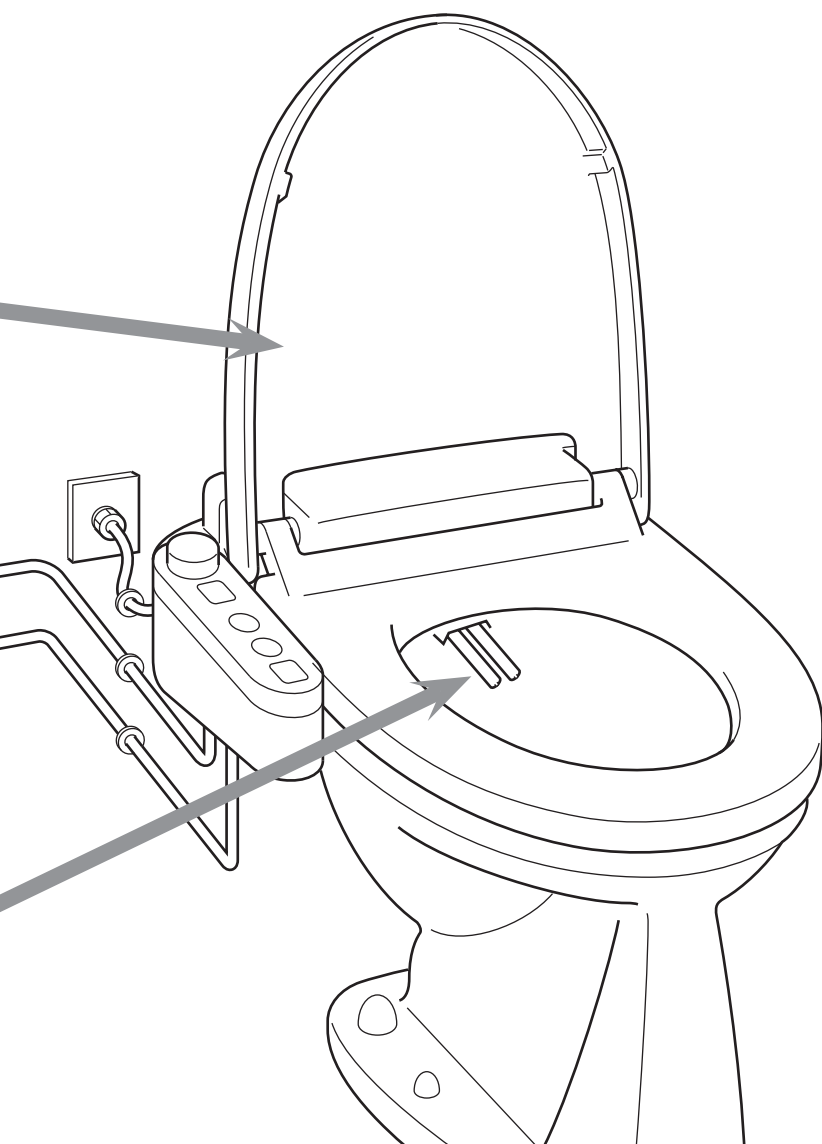
⚠ 警告

給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。

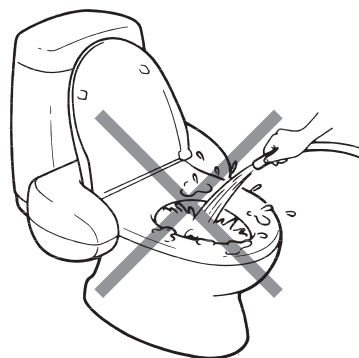
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

⚠ 注意

給湯管は高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。

※ ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体に水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

樹脂部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

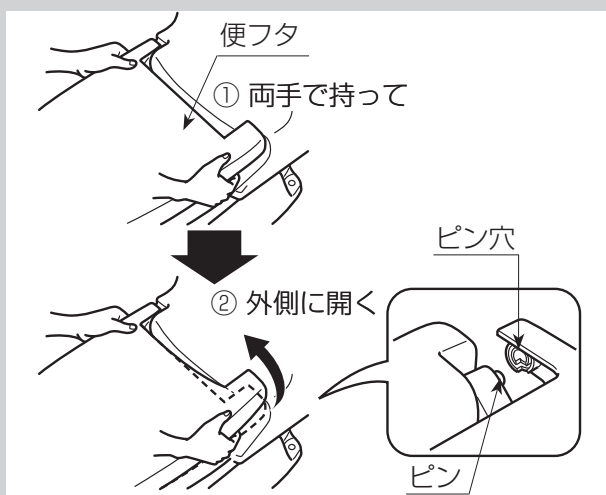
※ 樹脂が割れてケガや感電・火災の原因となります。
※ 感電・火災の原因になります。

KILAMIC 抗菌商品について

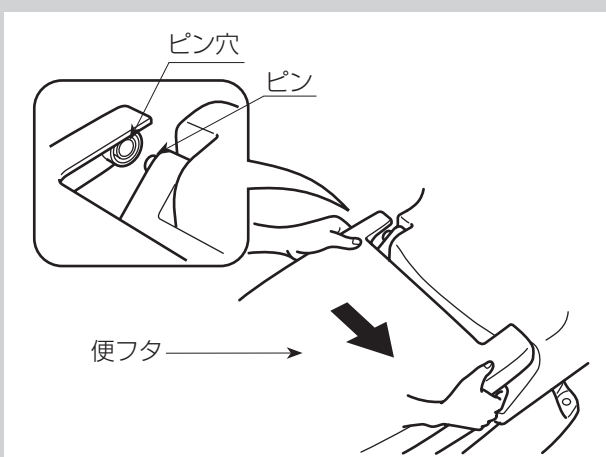
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格（ISO22196）になりました。

《便フタを外して掃除します》

便フタの外しかた

1. 便フタを両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外します。

2. 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外します。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。

2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。

注意

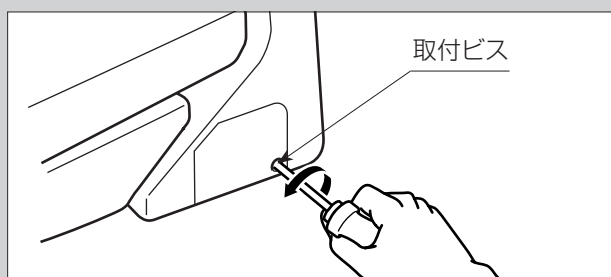
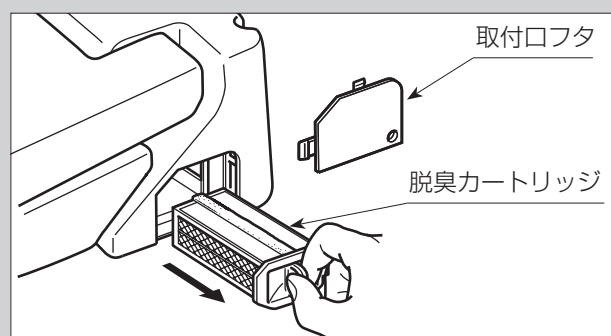
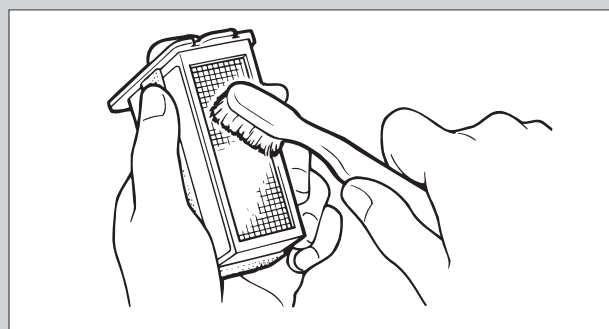
- ●便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。
- ●便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- ●便フタを外したまま使用しないでください。

お手入れのあとは、漏電遮断器のスイッチを「入」にしてしてください。

《脱臭効果が弱くなった場合》〈脱臭付〉

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 取付ビスを外し、脱臭カートリッジの取付口フタを取り外します。

2. 脱臭カートリッジを引き抜きます。

3. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。

注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

4. 日付ラベルを上にして脱臭カートリッジを取付口に差し込み、取付口フタを取付ビスで取り付けます。

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約７年です。
※ 脱臭カートリッジの寿命は、４人家族（男性２人、女性２人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、25 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

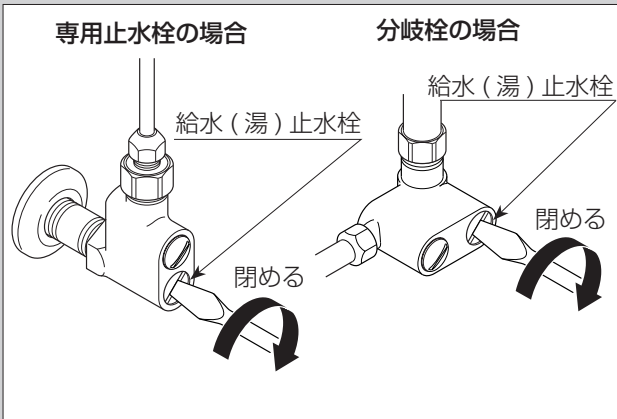
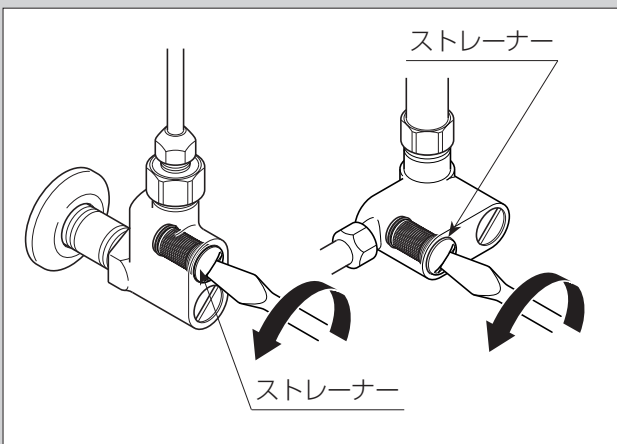
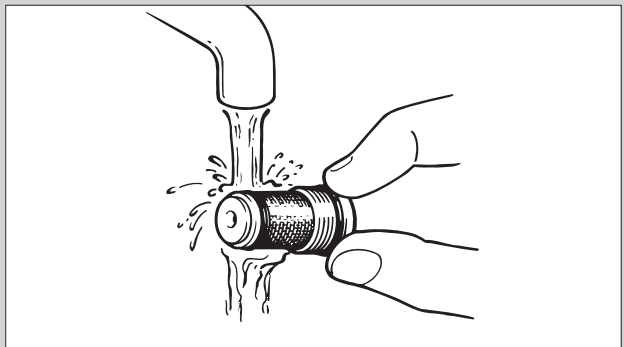
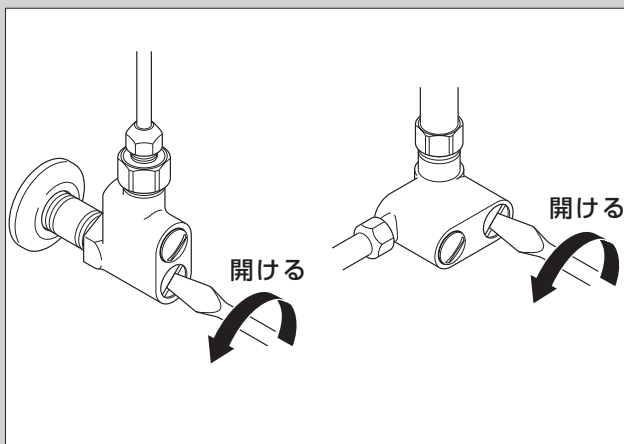
⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
〈脱臭付〉
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 両方の止水栓をしっかり閉めます。

2. ストレーナーを回して外します。
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

3. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。

4. ストレーナーを確実に取り付け、止水栓を開きます。

5. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 6、7 ページ）

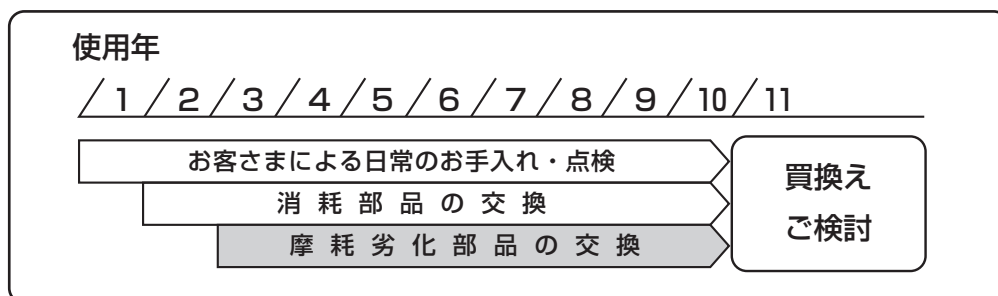
⚠ 警告

●ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
※ 熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

《定期的な部品交換のお願い》

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例） 止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉

セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
漏電遮断器を「切」にし、止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源コードが故障（異臭・異音）していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

お手入れ方法

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない。（ノズルが出ない。）	漏電遮断器に電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	漏電遮断器が「切」になっている。	漏電遮断器を「入」にします。
	漏電している。	漏電遮断器を「入」にしてください。それでも漏電遮断器が切れるようであれば、漏電遮断器を「切」にして、修理を依頼してください。
	止水栓が閉じている。	止水栓を反時計回りに回します。（☞ 6 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。（☞ 17 ページ）
	着座センサーが入っていない。	着座しないとシャワーはでません。（☞ 11 ページ）
	水道圧が低い。洗浄強さダイアルが最弱付近になっている。	洗浄強さダイアルの三角マークより「強」側に回します。
	お風呂や洗面所などで多量のお湯を使用している。	他の使用を一時中断します。
温水準備の排水が止まらない。	温水準備機能に不具合が生じている。	止水栓を閉じて修理を依頼してください。
シャワーが熱い。	温水機能に不具合が生じている。	修理を依頼してください。
便座が暖かくない。＜暖房便座付＞	便座スイッチが適当な温度に調節されていない。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 8 ページ）
脱臭ファンが回らない。	脱臭が「切」にセットされている。	脱臭を「入」にセットします。（☞ 10 ページ）
脱臭効果が弱くなった。（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着している。	脱臭カートリッジを掃除してください。（☞ 16 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命である。	脱臭カートリッジを交換してください。（☞ 16 ページ）
本体がガタつく。	取付ナットがゆるんでいる。	取付ナットを締め直してください。
温水準備ランプが点滅している。	点検時期が来ている。	電源スイッチを「切」にしたら消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。（点検されるまではご使用になれます。）
便座裏に水滴が付着する。	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。

※上記処置で故障が直らない場合は、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

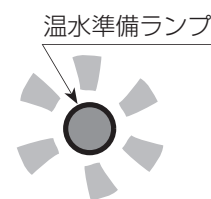
1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録となります。詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、温水準備ランプが連続して 1 秒間に約 5 回の点滅を繰り返します。この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。
当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※ この表示は、LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。
※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。
（TEL 0120-179-400）

点検時期お知らせ表示機能「入」「切」の切替ができます。下記の要領で切り替えてください。

■切替方法

お買い上げ時は、「切」の状態となっています。「切」の状態では、製品を使用してから約 10 年が経過しても、点検時期お知らせ表示機能は表示されません。

1 止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。

上記操作を行うと、点検時期お知らせ表示機能入／切の設定を行うことができます。

※ 上記操作後、「おしり」「ビデ」以外のスイッチを押した場合や 10 秒間何もしなかった場合は、元の状態に戻り、点検時期お知らせ表示機能の設定ができなくなります。

2 おしりスイッチを 2 秒以上押します。

- 「入」設定時は、温水準備ランプが 1 回点滅します。
- 「入」の状態で同じ操作を行うと「切」になります。「切」設定時は、温水準備ランプが 2 回点滅します。

点検時期お知らせ表示機能が表示されてから、おまかせ点検をお受けいただくまでの期間、下記の操作を行うことで、表示を約 6 か月間非表示にすることができます。
■ 操作方法
● 止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 6 秒以上押した後、ビデスイッチを 2 秒以上押します。
（セット完了時、温水準備ランプが 1 回点滅します。）
● 元に戻すのも同じ方法で行います。

4. 点検の修理、お申し込みは

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

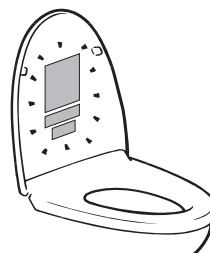
受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容）

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】１０年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるケガ等の事故に至る恐れがあります。

（想定安全使用期間とは）

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回 / 日・人、小便男性：４回 / 日・人、小便女性：４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

（参考）

経年劣化について
「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（19 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みや漏電遮断器のガタツキ
- ●漏電遮断器やコードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

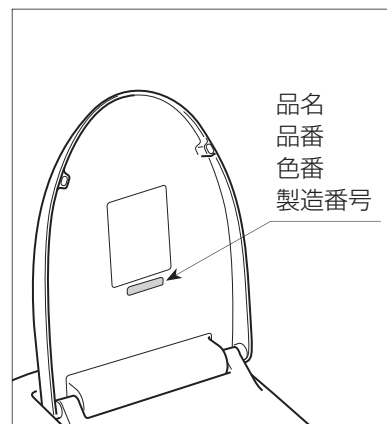
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
（便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により温水準備ランプが点滅したら

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

アフターサービス

■延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 非住宅でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ 1 年間延長され、計 3 年間保証になります。

仕様

<table>
<tr><td colspan="2">タイプ</td><td>CW-U120R(L)（標準便座）
CW-U121R(L)（大型便座）
脱臭・暖房便座付</td><td>CW-U110R(L)（標準便座）
CW-U111R(L)（大型便座）
脱臭・暖房便座無</td></tr>
<tr><td colspan="2">給水方式</td><td colspan="2">水道直結式</td></tr>
<tr><td colspan="2">給湯方式</td><td colspan="2">給湯配管直結式</td></tr>
<tr><td colspan="2">温水形式</td><td colspan="2">給水・給湯による混合式</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大定格</td><td>AC100V・70W　50／60Hz</td><td>AC100V・23W　50／60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">商品寸法</td><td colspan="2">幅460(Lタイプ)・幅450(Rタイプ)×奥行510(標準)・540(大型)×高さ127mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">商品質量</td><td colspan="2">約4.5kg</td></tr>
<tr><td rowspan="7">おしり・ビデ洗浄</td><td>ノズル</td><td colspan="2">おしり・ビデ専用オートスライド式</td></tr>
<tr><td>ノズル穴</td><td colspan="2">おしり用：φ 1.0 × 3 ヶ
ビデ用：φ 0.8 × 10 ヶ</td></tr>
<tr><td>おしり洗浄吐水量</td><td colspan="2">1.3L/分</td></tr>
<tr><td>ビデ洗浄吐水量</td><td colspan="2">1.5L/分</td></tr>
<tr><td>温水温度制御方法</td><td colspan="2">サーモスタットバルブ方式</td></tr>
<tr><td>温水温度制御温度</td><td colspan="2">約38℃</td></tr>
<tr><td>安全装置</td><td colspan="2">高温感知スイッチ（サーミスタ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">便座</td><td>ヒーター容量</td><td>大型便座48W、標準便座45W</td><td>—</td></tr>
<tr><td>表面温度</td><td>切（室温）・低（27℃）・高（36℃）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>温度調節</td><td>3段階切替（マイコン制御）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>安全装置</td><td>温度ヒューズ</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">脱臭</td><td>脱臭方式</td><td>脱臭カートリッジによる化学吸着方式</td><td>—</td></tr>
<tr><td>脱臭能力</td><td>0.08m³/分</td><td>—</td></tr>
<tr><td>脱臭カートリッジ寿命</td><td>約7年</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コード</td><td colspan="2">有効長さ5.3m（アースコード付）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">使用条件</td><td>使用水</td><td colspan="2">水道水</td></tr>
<tr><td>最低必要給水・給湯圧力</td><td colspan="2">0.059MPa ｛0.6kgf/cm²｝</td></tr>
<tr><td>最高必要給水・給湯圧力</td><td colspan="2">0.74MPa ｛7.5kgf/cm²｝</td></tr>
<tr><td>設置ユニット</td><td colspan="2">換気扇付ユニット</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他の機能</td><td colspan="2">●便座・便フタスローダウン　●便フタワンタッチ着脱機構
●着座センサー</td></tr>
</table>

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

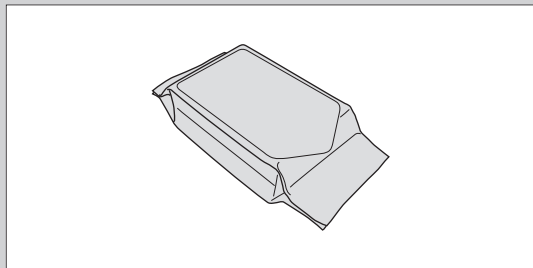
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

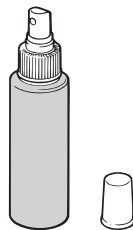
■トイレ用おそうじティッシュ

単品　　　　品番：CWA-36
4個セット 品番：CWA-36-4SET
12個セット品番：CWA-36-12SET

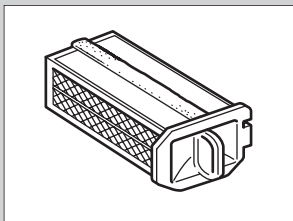
樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
(☞ 13 ページ)

■シャワートイレお掃除クリーナー
（品番：CWA-20）

■シャワートイレお掃除クリーナー（業務用）
（品番：CWA-22）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。(☞ 13ページ)

シャワートイレ
お掃除クリーナー
(CWA-20)
100mL

シャワートイレ
お掃除クリーナー
(CWA-22)
10L

■取替え用脱臭カートリッジ
（品番：CWA-33）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
(☞ 16 ページ)

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

●宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。

・ お電話にてご注文いただく場合
LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。
[ご注文フリーダイヤル]
電話番号　0120-126-015
受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）

・ インターネットにてご注文いただく場合
[ホームページアドレス]
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。
- 酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。
- 電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック(電気の道)ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。

便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

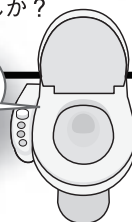
- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ 電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ 水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会** 後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 http://www.sanitary-net.com

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

GCW-1296K(13090)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/